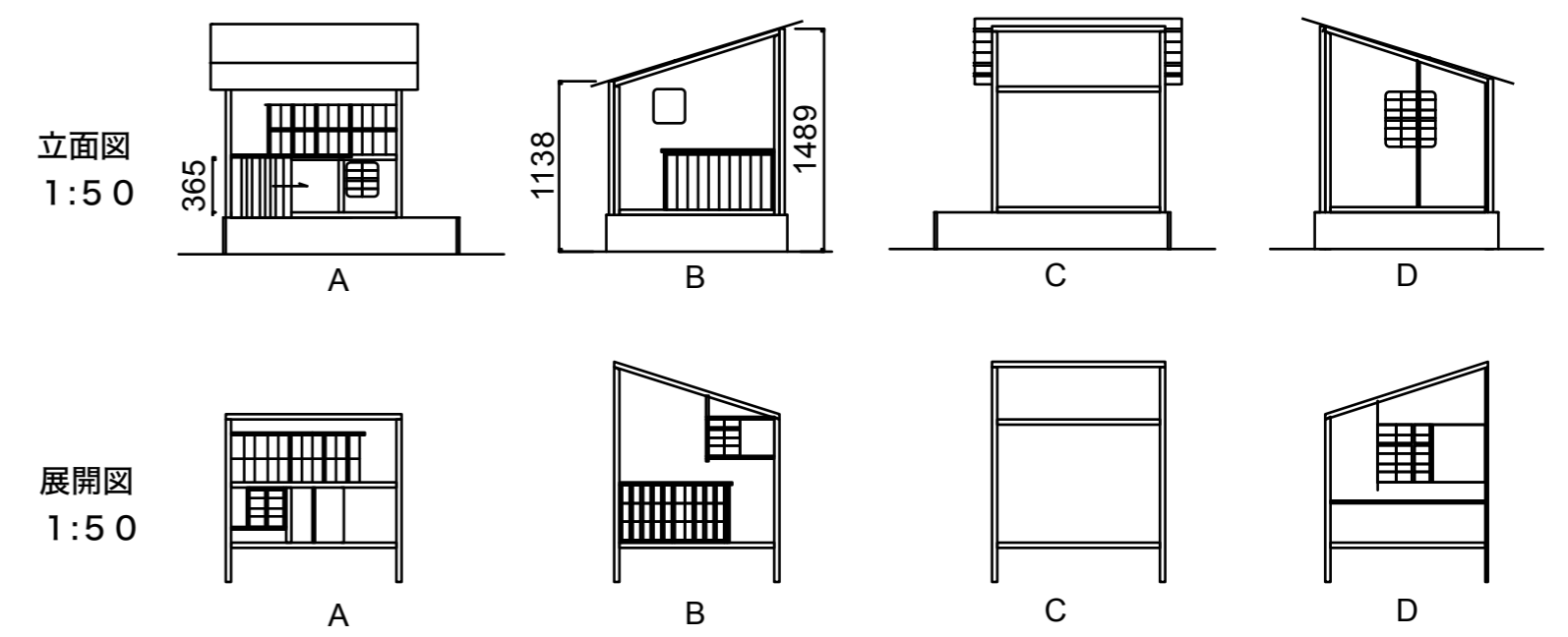
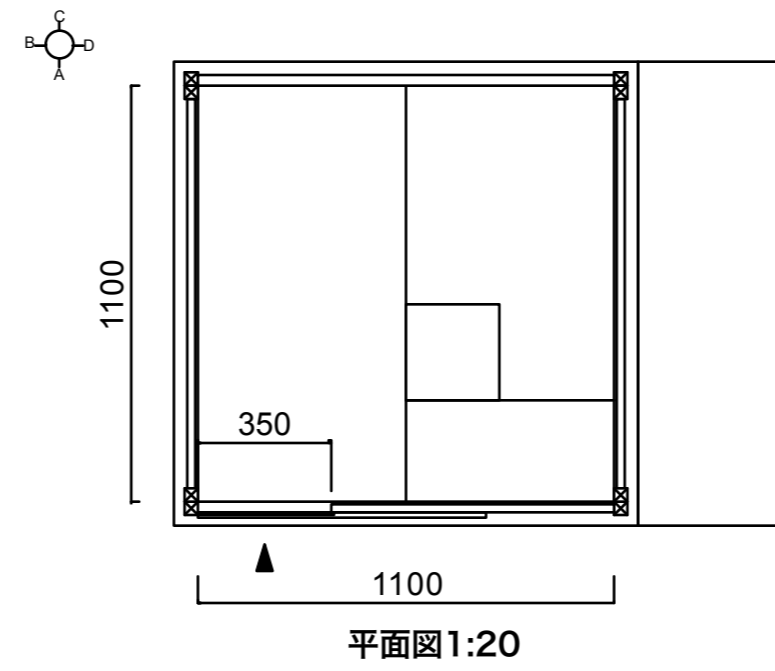




こんにちは、 こんにちはあん 今日庵。

こどもに合わせたおもちゃ茶室



組立て方

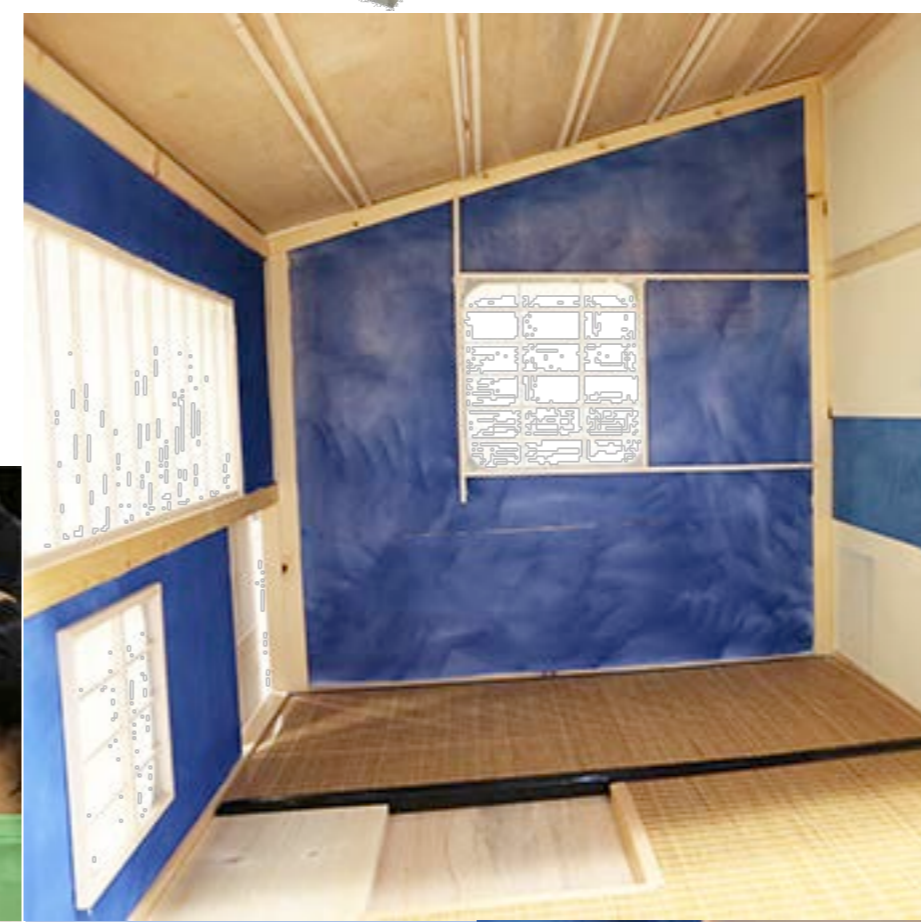
- ①土台に支えをはめ込む
- ②土台をひっくり返す
- ③畳を置き壁を差し込む
- ④屋根を乗せて完成



簡易 組立式 茶室

組み立て式茶室！

この茶室は、実際の起こし絵図（今日庵）をもとに作成されている。
起こし絵図とは、江戸時代に盛んに作成された、組み立てると立体になる建築図面である。
壁を起こして組み立てる起こし絵図をヒントに、コンパクト化も可能な、組み立て式茶室を設計した。



仕上表

子どもが入るので、塗料は水性
接着材は木工用ボンドを使用
使用ビス：6mm

■内部
床
畳(竹ゴザ+カネライトフォーム)
SPF材(19×235mm)
JAS普通合板4mm厚

壁
アカマツ (35×35)
カネライトフォーム (25mm厚)
水性多用塗スプレー (青)
バルサ材 (10×10、5×5)
トレーシングペーパー

天井
JAS普通合板4mm厚
バルサ材 (10×10)

■外部
土台
SPF材
JAS普通合板4mm厚

壁
アカマツ (35×35)
カネライトフォーム (25mm厚)
バルサ材 (10×10、5×5)
バルサ材
トレーシングペーパー

屋根
JAS普通合板4mm厚
蝶番



狭さを 伝える

設計 ポイント

- ・畳は、身長100cm程度の子供を基準とした、1100×550に設定
- ・屋根は開閉式になっており、大人は上から中の様子を見ることができる
- ・壁を土台に差し込み、屋根を乗せるだけで簡単に茶室を組み立てることができる
- ・壁や屋根を全て土台に収納し、コンパクトにできる。

茶室は『狭さ』が大きい！

茶室の空間を特徴づける大きな要素として、空間の持つスケール感、茶室特有の「狭さ」がある。
畳をはじめ、茶室各部の寸法は人体寸法をもとに決定されている。茶室空間の持つ「狭さ」を子供が体感するためには、基準となる寸法を子供に合わせる必要がある。そこで寸法を子供に合わせて縮小して作ったのがこの『こんにちは、今日庵。』だ。

